

パウロの辞世の句(テモテへの手紙二 4:6~8)

私が世を去るときはすでにきた。

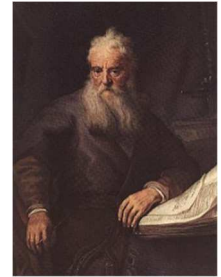
私は今や、神の前に注ぎかけられる供えものとなる。

私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守りとおした。

この先、私には義の栄冠が用意されている。かの日には、正しい審判者である神が、それを私に授けてくれるのだ。私はその瞬間を心待ちにしている。

私だけではない、信仰を持ち神を慕っている者には、誰にでも授けてくれるのだ。

古代ユダヤ賢人の言葉 石井希尚(いしいまれひさ)より



▶新共同訳 (ネロ皇帝の前での弁明の前、死罪になることを悟ったパウロが書き記した辞世の言葉)

06 わたし自身は、既にいけにえとして献げられています。世を去る時が近づきました。

07 わたしは、戦いを立派に戦い抜き、決められた道を走りとおし、信仰を守り抜きました。

08 今や、義の栄冠を受けるばかりです。正しい審判者である主が、かの日(→神が世界を審判する時)にそれ(→義の栄冠)をわたしに授けてくださるのです。しかし、わたしだけでなく、主が来られるのをひたすら待ち望む人には、だれにでも授けてくださいます。

▶口語訳

06 わたしは、すでに自身を犠牲としてささげている。わたしが世を去るべき時はきた。

07 わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。

08 今や、義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には、公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりではなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう。

▶聖書協会共同訳

06 私自身は、すでにいけにえとして献げられており、世を去るべき時が来ています。

07 私は、闘いを立派に闘い抜き、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。

08 今や、義の冠が私を待っているばかりです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるでしょう。私だけでなく、主が現れるのを心から待ち望むすべての人に授けてくださるでしょう。

▶リビング・バイブル

06 こう言うのも、私の最期が迫っているからです。いつまでもあなたを助け続けるわけにはいきません。もうすぐ天国へ旅立ちます。

07 主のために、長いあいだ困難な戦いを続けてきた私は、主への真実を守り通しました。しかし今、ついに、休む時が来たのです。

08 天では栄冠が待っています。正しい裁判官である主が再び来られる日にいただく冠です。もちろん私だけにではなく、主を熱心に待ち望む人々全員に授けられるのです。

▶回復訳

06 わたしはすでに注ぎ出されて(→血を流して)います。わたしの去る(→殉教を通して、この世を去って主と共にいるために)時は迫っています。

07 わたしは良い戦いを戦い抜き、行程を走り終え、その信仰を守り通しました。

08 今からは、義の冠がわたしのために用意されているのです。かの日には、義なる審判者である主が、それをわたしに授けてくださいます。わたしだけでなく、主の出現を慕ってきたすべての人にも授けてくださいます。

【参考】パウロ

< 1 >ヘブル名はサウロ。小アジアのキリキア州タルソス生まれの離散ユダヤ人で、ヘレニズム文化の影響を豊かに受けたが、それ以上にユダヤ教の伝統の強い環境に育ち、ファリサイ派のガマリエルの門下生で、ファリサイ派の熱心な一員でした（使徒言行録 22 : 3）。

→（使徒言行録 22 : 3）わたしは、キリキア州のタルソスで生まれたユダヤ人です。そして、この都で育ち、ガマリエルのもとで先祖の律法について厳しい教育を受け、今日の皆さんと同じように、熱心に神に仕えていました。

< 2 >ユダヤ人でありながら律法を軽視するようなキリスト教徒を許しておけず、迫害に乗り出したが、その過程で突然、人が救われるのは、律法を守るという自分の功績によるのではなく、キリストを信じて彼にいっさいをゆだねることによると悟って、キリスト教の伝道者となった。

→（使徒言行録 26 : 12～18）「こうして、私（パウロ）は祭司長たちから権限を委任されて、ダマスコへ向かったのですが、その途中、真昼のことです。王よ、私は天からの光を見たのです。それは太陽より明るく輝いて、私とまた同行していた者との周りを照らしました。私たちが皆地に倒れたとき、『サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか。とげの付いた棒をけると、ひどい目に遭う（→リビング・バイブル：そんなことをしたら、自分が傷つくばかりだ）』と、私にヘブライ語で語りかける声を聞きました。私が、『主よ、あなたはどなたですか』と申しますと、主は言われました。『わたしは、あなたが迫害しているイエスである。起き上がれ。自分の足で立て。わたしがあなたに現れたのは、あなたがわたしを見たこと、そして、これからわたしが示そうとすることについて、あなたを奉仕者、また証人にするためである。わたしは、あなたをこの民と異邦人の中から救い出し、彼らのもとに遣わす。それは、彼らの目を開いて、闇から光に、サタンの支配から神に立ち帰らせ、こうして彼らがわたしへの信仰によって、罪の赦しを得、聖なる者とされた人々と共に恵みの分け前にあずかるようになるためである。』

< 3 >パウロの師であり、ファリサイ派のガマリエルは、ラビの中でも最高位にあり、「ラバン・ガマリエル」と呼ばれた。ファリサイ派には、①厳格なシャンマイ派と②穏健的なヒレル派があるが、ヒレルの孫であるガマリエルは当然、後者に属していました。

ガマリエルのヘブル表記は「ガムリーエール」で、同じ名前前の人物が聖書の中にも登場します。

民数記 1 : 10 等に出て来る、「ガムリエル」で、「神が成熟させる」という意味があります。



タイトル(書名)	章:節 聖句 [検索対象総数 : 5 / 聖句等の総数 33250 <ガムリエル>5個]	聖書Navi Active 393128091 (新共同訳) [検索語彙 : ガムリエル]
K 民数記	1:10 ヨセフの子のうちエフライム族では、アミフドの子エリシャマ。マナセ族では、ペダツルの子ガムリエル。	
K 民数記	2:20 それと共に宿営するのはマナセ族で、マナセの人々の指導者はペダツルの子ガムリエル、	
K 民数記	7:54 第八日には、マナセの人々の指導者ペダツルの子ガムリエルがささげた。	
K 民数記	7:59 和解の献げ物として雄牛二頭、雄羊五匹、雄山羊五匹、一歳の雄の小羊五匹。以上がペダツルの子ガムリエルの献げ物である。	
K 民数記	10:23 マナセの人々の部族の隊長はペダツルの子ガムリエル、	

【参考】 聖書から分かる、パウロに関わる使徒および協力者

パウロ（サウル：ヘブライ名）は、キリスト教史上最大の使徒である。ユダヤ教による厳格な教育を受け、ファリサイ主義を至上と信じ、キリスト教会を徹底的に迫害した。ところが、キリスト教徒弾圧のためエルサレムからダマスカスへ赴く途中、サウルは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」（使徒言行録 9：4）と呼びかけるイエスの声を聞いて回心、伝道者としての生活に入る。特に異邦人への布教を使命として小アジア、マケドニアなどへの伝道旅行を行なった。

そんなパウロの伝道生活の中での協力者や関係した人たちを聖書の中から見ていきます。

- ▶ ケ フ ァ（ガラテヤの信徒への手紙 1：18、2：9）：使徒ペトロ
- ▶ ヤ コ ブ（ガラテヤの信徒への手紙 1：19、2：9）：イエスの弟、義人ヤコブ
- ▶ ヨ ハ ネ（ガラテヤの信徒への手紙 2：9）：使徒ヨハネ
- ▶ ル カ（コロサイの信徒への手紙 4：14 他）：元医者、ルカによる福音書等の記者

		聖書Navi Active 393128091 (新共同訳)
	タイトル(書名)	章:節 聖句 【検索対象総数：6 / 聖句等の総数 33250 】
S	ガラテヤの信徒への手紙	1:18 それから三年後、ケファと知り合いになろうとしてエルサレムに上り、十五日間彼のもとに滞在しましたが、
S	ガラテヤの信徒への手紙	1:19 ほかの使徒にはだれにも会わず、ただ主の兄弟ヤコブにだけ会いました。
S	ガラテヤの信徒への手紙	2:9 また、彼らはわたしに与えられた恵みを認め、ヤコブとケファとヨハネ、つまり柱と目されるおもだった人たちは、わたしとバルナバに一致のしるしとして右手を差し出しました。それで、わたしたちは異邦人へ、彼らは割礼を受けた人々のところに行くことになったのです。
S	コロサイの信徒への手紙	4:14 愛する医者ルカとデマスも、あなたがたによろしくとっています。
S	テモテへの手紙Ⅱ	4:11 ルカだけがわたしのところにいます。マルコを連れて来ててください。彼はわたしの務めをよく助けてくれるからです。
S	フィレモンへの手紙	1:24 わたしの協力者たち、マルコ、アリストアルコ、デマス、ルカからもよろしくとのことです。

- ▶ コロサイの信徒への手紙 4：10～17 に登場する協力者について
 - ・ アリストアルコ（使徒 19：29、20：4、27：2、コロサイ 4：10、フィレモン 24 節）
 - ・ バルナバのいとこマルコ⇒マルコと呼ばれていたヨハネ＝ヨハネ・マルコ
(使徒 12：12、25、15：36～39、Ⅱテモテ 4：11)
 - ・ イ エ ス（ユストと呼ばれるイエス、コロサイの信徒への手紙 4：11 のみ）
 - ・ エパfras（コロサイ 1：7、4：12、フィレモン 23 節）
 - ・ デ マ ス（Ⅱテモテ 4：10、フィレモン 24 節）
 - ・ ニ ン フ ァ（コロサイの信徒への手紙 4：15 のみ）
 - ・ ア ル キ ポ（フィレモン 2 節）